Н M 講

た。今回は「福島県の文 ジマネージャー育成講習 係法令、歴史的建造物を 県建設センターで開かれ 会がこのほど、福島市の 化財行政·景観行政·関

活用したまちづくり」を 今年度第5回ヘリテー

紀子主任建築技師から 県自然保護課の竹内美



習

実例を学んだ。 基づく行政の動向と歴史 テーマに行い、関係法に を活かしたまちづくりの ちづくり」について聞い た後、北野博司東北芸術 史まちづくり法によるま 工科大学歴史遺産学科教

り」と題し、講義した。 国見町の大勝室長は

文化を活かしたまちづく

郭石垣)の保全、伝統技 授が「歴史的建造物(城 ける歴史的風致の維持お ことし2月に国土交通省 から認定された地域にお

歴まち認定など学ぶ 国見町が風致計画説明

田博文主任主査から「歴 県まちづくり推進課の湯 「景観法概要、県の景観 補助制度ほか」、 内宿結いの会顧問が「大 勝宏二国見町企画情報課 術と景観」、吉村徳男大 内宿の保存と活用」、大 歴史まちづくり推進室長 よび向上に関する法(歴 史まちづくり法、歴まち について説明した。 史的風致維持向上計画_ 法)に基づく「国見町歴

が「国見町歴史・伝統・

史・文化を活かしたまち 齢化の進行に対して、 会にはない同町固有の歴

づくりを進め、震災と原 を歴史的風致に設定し 取福源寺観音講―の7つ

っては「100年を見据

え、急がず、地域と思い

同町は、人口減少と高 そうと同計画を策定。「ま 発事故からの復興を目指 勝室長は、情報発信拠点 具体的事業について大 を共有してまちづくりを 進めたい」と述べた。

りの実例などを学んだ第 5回講習会 歴史を活かしたまちづく

駅整備事業に注力してい として整備着手した道の

思いを共有」「未来へつ ちの誇り」「地域住民と ⑤光明寺集落の水利用⑥ 貝田宿④石蔵と石工技術 なげ、伝える」をキーワ 内谷春日神社の祭礼⑦鳥 旧奥州街道藤田宿③同• 合戦と顕彰・教育活動② ードに、①阿津賀志山の いる。 事業、藤田宿の奥山家住 査を終えたことから21日 る建造物調査が、寺社調 り組む見通しを示した。 宅周辺整備事業などに取 存・活用と歴史公園整備 には中間報告会を開いて ソフト事業で実施してい ぶ阿津賀志山防塁の保 る現状と、3・15に及 同計画を進めるに当た

福島建設工業新聞